

第7号

はんの木だより

発行

特別養護老人ホーム

美土里荘

美土里荘

家族会

〈これからの
長寿と健康を〉

美土里荘
敬老会



9月13日、敬老会、お誕生会が行われました。町や県が数名の利用者がお祝いを受け、さらに美土里荘より、皆さんへポロシャツやバスタオル等をおくらせて頂きました。これからのご健康とお幸せをお祈り致します。また、ご家族の皆様のご来荘を心よりお待ちしております。

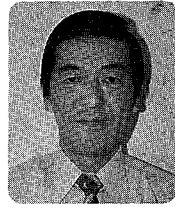
特別養護老人ホーム

美土里荘

〒039-25 青森県上北郡七戸町字寒水70-17

電話 0176-62-2761

今、やまじい



副園長

盛田 益三

最近、施設との地域の関わりが強く云々されるようになりました。

デイ・サービス、在宅介護、ショート・ステイ等施設側からのサービスについては、国の福祉整備十ヶ年計画に県、市町村が呼応し、より一層の充実を計るため制度政策上からすすめられております。我々も地域へのサービスの向上に努めると共に、新たな事業にも着手して行かなければならない状況がすぐそこまで来ています。また逆に地域から協力してもらわなければならない点も多くあり、何かの災害が発生した場合等、施設内だけの事態として処理出来なくなるケースも考えられ、普段から地域住民の方々との連携を密にしておかなければなりません。またボランティア等の開拓にももっと力を入れ、施設の人手不足を少しでも補なうって行く努力も必要です。

さて、この連携を充分なものにして行くためには、先づ施設でやらなければならないことがあります。

施設は先づ施設の社会化を考えがちであるが、利用者の社会化が優先されなければならないのではないのでしょうか。つまり、個別処遇を深く掘り下げていく事が先決の様な気がします。

例えば、日常のプログラムの中でも、ケースワークやリハビリについては、良く行なわれていると思いますが（当施設に限らない）、衣食住に関して視ると、日常生活同様と言う訳には行っていない。

食事一つをとってみても、一般の家庭では、同じ様に見えても、それぞれの好みや分量があり、おかわりも自由で、お父さん、お母さん、子供と差があります。一方、施設内では計算された養分、カロリーの基に、嗜好調査も行なったうえでニーズに答える様取り計らわれます。しかし個別化を考えるなら、このメニューでこの分量でいいのと言えれば少し違う様な気がします。所謂盛り切りなのです。そこでバイキングを取り入れたり、お好み献立の日をもうけたりしている施設がでて来ました。食器を工夫したり、外食を試みてい

る所もあります。

食事以外でも集団生活ということ、日常時の何げないことを、見落している点があるような気がします。ある乳児院では、オモチャの共用を止め、一人一人の乳児のオモチャに名前をつける事により、自分の物と、他人の物の区別がつくようになったそうです。このへんにもちよっとしたヒントがあるような気がします。

実際に実行している事も含まれますが、少人数での街への買物や映画鑑賞等も開拓したボランティアの方々に御願いしてもいいのではないかと思います。

施設利用者の一人一人が、一個人として、社会人として毎日の生活をおくっているかどうか、常に自身身に問いかけて処遇にあたっていく必要性があるのではないのでしょうか。またこのようなことを一つ一つ積み重ねていく事が非常に大事な事であると常々思っています。

施設の機能上やその他の条件も加わり、完璧な処遇は出来ないと思うが、小さいと思う事でも一つずつ実行し、より良い処遇を目ざし、職員一同、一丸となって努力して行く事が大切な事です。

施設は進化するものです。

◇小さな主張◇

2回目のバースデー

に思いつく

寮母 菅岡 亜由子

学生の頃憧れていたT先生は、いつもカラフルなワンピースでお見えになっていた。「レクリエーション」の先生で、ゲーム等さわやかな話し方で指導して下さった。そこで先生は「私は皆さん一人ひとりにゲームを楽しもうという気持ちが湧いてくるというのが好きですね」とおっしゃった。この言葉どおり「楽しもう」という気持ちで参加してみると確かにより生き生きと楽しめるのは不思議なものである。

そして、この事を基本にして一年間の施設実習に取り組んだ。区立高齢者センターで演劇サークル活動を行う事になり、利用者の方が八人程集まった。粗末な脚本であるが寸劇『知床旅情』もできあがり、主役には七十四歳の男性O氏に決まった。練習回数も重ねていたある日、O氏が「俺は台詞覚えが悪くて出来ないよ」と云いだした。そこで「今更そんな事云うもんじゃない」と責める声や「皆、そうだから心配しないで」

あの日この日のスナップ集

おじいさん
おばあさん
いつも ありがとう

市ノ渡 タ キ さん (85)

市ノ渡 キ エ さん (85)

市ノ渡 吉 松 さん (88)

米内山 サ キ さん (90)

加 賀 ナ ミ さん (90)

以上の方々が町や県、郵政省などから表彰されました。おめでとうございます。利用者の皆様のご健康と長寿を心よりお祈りいたします。



9月13日 美土里荘敬老会



「それ／ それ／」
「えい／ えい／」
「私が一番だえー。」



レクリエーション

運動会に向けて玉入れ競争の練習です。

『赤組がんばれ／／』

『白組負けるな／／』

「万葉の花たち」

かき びと しらす
書人 不知

美土里荘居室前、県道近くに万葉植物園がほぼ完成しました。が、なると言っても野の花、一見地見なこの花達は、今静かなブームを呼んでいます。野の花を愛する理事長が、利用者や職員の心の安らぎにと自ら採集、沢山の方の御協力を得て、ようやく百数十種揃えました。

萩の花 尾花葛花
なでしこの花 女郎花
また藤袴 朝顔の花
山上 憶良

あまりに有名なこの歌は、「秋の七草」の源流で尾はすすき、朝顔はききょうとのことです。萩は頼りなく小花をこぼしてしまいますが、葉を落として一冬越すと翌年にはより多くの花をつけます。その名ももとは「生芽」といい、「芽」「芽木」と書いて「ハギ」と読んだとされます。萩に託して恋心を詠い、萩を衣に染めて着たり、かんざしにしたり、万葉人は萩とともに秋の日を過ごしました。

道の端にひっそり咲き、振り向かれることなどとうにあきらめていたそんな風情がいじらしいのですが、本当はなかなかのことでは枯れない強さを秘めているのです。美土里荘には、万葉時代をしのばせる素朴なヤマハギ、清楚なシラハギ、アカバナハギ、大ぶりのミヤギノハギ、絞りの五月雨ハギ、江戸絞りハギ、あすかのハギ、ボタンハギが揃っています。興味がお有りの方はお立寄り下さい。

お知らせ

此度、処遇向上の為非常勤職員を雇用し、忙しい時などに勤務してもらう事になりました。
宮崎寿人さん（六十三） 四十二年間七戸町トーハタ株式会社
に勤めていました。
大平洋二さん（六十四） 三十二年間農林省奥羽種畜牧場に勤めた方です。
大平アキさん（六十二） 大平洋二さんの奥様です。
以上三名よろしく願います。

これからの 行事予定

☆十月 一日 理髪日
四日 お話会
七日 運動会
十一日 買物外出
一日 文化祭
五日 理髪日
八日 田清外商
三日 理髪日
☆十二月 二十日 クリスマス会
二十七日 もちつき

編集後記

きれいな星空に響く蟲の声、少し肌寒いぐらゐの澄んだ空気……をムシして慌しく出来上がった第七号。それもこれも、すべて皆様のご協力のおかげでございます。

まき

マンガ家と言うのは、とても大変な仕事です。今こうして書いてみて、とても苦しんでいます。これから頑張りますのでヨロシク！

☆TAKUBON

